

【子育て談話室】テーマ：寛容

右の詩は、昨年もご紹介したドロシー・ロー・ノルト博士の有名な詩です。一言で言えば、子どもは親の姿を見て育つということかと思えます。世界的パンデミックのコロナ禍の中、オリンピックの開催を含め様々な議論がなされています。議論すること、つまり対等に意見を交換することは非常に有意義だと感じますが、一方的な批判を聞くと、なんととも寂しく悲しい気持ちになります。

過日の保護者会でもお伝えしましたように、一人ひとりの大切な生徒の成長を願うのは、保護者の皆さんも学校も同じです。しかし、視点の違いが、ズレを生じさせてしまうこともあります。そんなときは、遠慮なく担任等に相談して下さい。生徒や保護者の皆さんが感じられた「違和感」を、融和的な話し合いによって解決する【寛容】な大人の姿を、生徒たちにとって素晴らしいモデルになるはずですよ。

様々な制限が加わり、ギスギスしがちな時だからこそ、大人の素敵な【寛容】さを教えてあげたいと願っています。

『子どもは大人の鏡』

子どもは、批判されて育つと人を責めることを学ぶ
子どもは、憎しみの中で育つと人と争うことを学ぶ
子どもは、恐怖の中で育つとオドオドした小者になる
子どもは、憐れみを受けて育つと自分を可哀想だと思ふようになる
子どもは、馬鹿にされて育つと自分を表現できなくなる
子どもは、嫉妬の中で育つと人をねたむようになる

以下省略

◇職業人講話が行われました！

6月21日(月)の5校時目に職業人講話を行いました。アオキシテック代表取締役CEOの青木圭太様より、「未来を考える」というタイトルで1時間20分程度講話をいただきました。青木様の自己紹介や会社の概要、「仕事」って何？、どういう「仕事」がいいのか、いい「仕事」を見つけるには、などについてグループでの話し合いも交えながらお話がありました。人生の3分の1が仕事、遊んでいるときと同じで「仕事」も楽しいと時間の流れが早い！自分に合った「仕事」を知って、それを目指して頑張ろうと話していただきました。生徒のみなさんもとても主体的に話し合ったり、質問に受け答えしたりするなど、これから職業を考えていくうえで、大変勉強になったことと思います。翌日6月22日(火)のマイチャレンジ(職場体験学習)に向けて職業へ意識が高まる機会となりました。



◇修学旅行に行ってきました！

6月19日(土)から21日(月)にかけて、修学旅行が実施されました。新型コロナウイルス感染症の流行の全国的な拡大により、方面を奈良・京都から福島・那須方面に変更しての実施となりました。1日目は福島県のアクアマリンふくしま、東日本大震災原子力災害伝承館など浜通りを中心に見学しました。2日目は、会津若松を中心に日新館、白虎隊、鶴ヶ城などの見学とサクランボ狩りなどをしました。特にサクランボ狩りは、初めての生徒が多く、採れたてのサクランボを味わっていました。3日目は、那須ハイランドパークで班別自由行動をしました。ほとんど貸し切り状態と思う存分好きなアトラクションを楽しみました。生徒たちにとって級友とともに過ごした3日間はかけがえのない思い出になったことと思います。

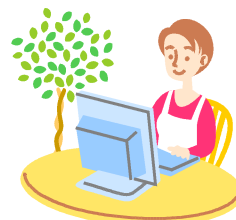


～ ホームページ更新中 ～

本校ホームページの「お知らせ」には、学校行事や授業などを中心に生徒の日々の様子を随時更新しております。また、各種大会の時には、各部より結果の速報も県春季大会より掲載しています。「校長室より」では、学校経営の方針や校長としてのメッセージ等が掲載されていますので、どうぞご覧ください。



左記は、本校ホームページのQRコードです。行事の予定や日頃の生徒たちの様子を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。また、お子様のことでご心配やご相談等がありましたら、遠慮なく学校までお知らせください。基本的に教頭(小峰)が対応させていただきます。



◇校庭放射線量測定結果

6月17日(木) 0.065 マイクロシーベルト